

西諸県地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年5月 西諸県農林振興局

（西諸県農業改良普及センター）

目次

- I 管内農業・農村の主な動き (P2～3)
 - 1 西諸県地区女性サポート協議会総会及び研修会の開催
 - 2 5月期子牛郡品評会が開催
 - 3 西諸県地区営農振興協議会特用作部会総会が開催
 - 4 西諸県地区営農振興協議会野菜部会総会及び技術員会が開催
 - 5 農政水産部長によるマンゴー園地視察

- II 主な普及指導活動等の取組み
 - 1 地域プランに基づく普及活動 (P3～4)
 - (耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり)
 - 1 セリ前講習会の実施
 - (加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり)
 - 2 えびの市畑地かんがい事業推進協議会総会が開催
 - 3 「みずサポ隊」アンケート調査に係る協議の実施
 - (先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり)
 - 4 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJA梨ぶどう生産部会ぶどう梨管理講習会の開催
 - 5 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJA梨ぶどう生産部会役員会の開催
 - (気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立)
 - 6 乾田直播の実施
 - 2 地域課題一覧に関する普及活動 (P5～6)
 - 1 農業法人の経営支援
 - 2 就農相談会を開催
 - 3 令和8年度にしもろサップ交流会が開催
 - 4 えびの市SAP研修会が開催
 - 5 JAこばやし夏秋きゅうり栽培・出荷講習会が開催
 - 6 高原町花卉部会の定例会及び総会が開催

I 管内農業・農村の主な動き

1 西諸県地区女性サポート協議会総会及び研修会の開催

18日、普及センターにおいて、西諸県地区女性農業者サポート協議会委員21名及び関係機関など15名が参加し、総会及び研修会を開催しました。

総会では、令和7年度の活動実績、令和8年度の計画、役員改選など全ての議案が承認されました。

研修会では、(有)暮しと資産管理の鳥集寿一氏を講師に招き、「相続トラブル事例5選」と題して、身近に起こりやすい相続関係のトラブルについて、実際にあった事例を参考に財産に対して事前にできる対策等について学びました。

参加した会員からも質問があがり、高い関心が寄せられました。



【研修会の様子】

2 5月期子牛郡品評会が開催

7日に、小林地域家畜市場において、JAみやざき西諸県家畜市場運営部主催による令和8年5月期子牛郡品評会が開催されました。

13日から15日に開催される5月期子牛セリ市に出荷される雌子牛のうち、市町子牛品評会を経た33頭が出品され、審査の結果、優等賞に5頭、壺等賞に15頭、弍等賞に13頭が選ばれました。

なお、優等賞首席は小林市の川添一男さん出品の「ひな」号（父：美津秋）、2席は高原町の石山翔平さん出品の「おずんしげ」号（父：福晴茂）、3席は小林市の立山健二さん出品の「ひかる1526」号（父：白隆鵬）が受賞されました。受賞牛は、発育良好、幅、深さがあり、前軀から中軀への移行がなめらかで側望からの均称に優れるとの講評でした。



【優等賞首席「ひな」号】

3 西諸県地区営農振興協議会特用作部会総会が開催

28日に、普及センターにおいて、20名の出席がありました。総会では、令和7年度の実績報告と令和8年度の活動計画に関する提案が承認されました。

また、総会后に第1回目の技術員会が開催され、かんしょの病害対策の徹底を関係機関で確認するとともに、ミシマサイコ of の取組に関する情報共有を行いました。

4 西諸県地区営農振興協議会野菜部会総会及び技術員会が開催

14日に、普及センターにおいて、市町やJA、NOSA Iなど関係機関から合計25名が参加しました。

総会では全ての議案が可決され、令和8年度が無事にスタートしました。技術員会では、天候不順に伴う作物の生育不良などについて意見交換を行い、現場での対応や今後の対策について検討しました。

引き続き関係機関と連携し、物価高騰対策や高温対策など地域全体が関わる課題の解決に取り組んでいきます。



【技術員会での意見交換】

5 農政水産部長によるマンゴー園地視察

13日に、県の児玉農政水産部長がJAみやざきこばやしマンゴー部会の松田部会長の園地を視察しました。

松田部会長からは、事業承継や出荷状況、CO2施用について詳しく説明されていました。



【生育状況を児玉部長（左）に説明する松田部会長（右）】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

(耕畜連携が育むしなやかで強い畜産産地づくり)

1 セリ前講習会の実施

13日から15日に、小林地域家畜市場において、子牛セリ市開始前に講習会を行いました。普及センターから「飼料用イネの雑草対策」を、NOSA I西諸家畜診療所から「去勢について」をテーマに講習会を行い、延べ150名程度の参加がありました。

参加者からは、除草剤の散布時期について質問があり、作業体系について見直すきっかけになりました。

今後も継続して、基本的技術の紹介を行っていきます。



【講習会を聞く農業者】

(加工・業務用野菜を核とした力強い畑作産地づくり)

2 えびの市畑地かんがい事業推進協議会総会が開催

18日、えびの市役所において「えびの市畑地かんがい事業推進協議会」総会が開催され、普及センターから令和7年度の畑かん営農に関する情報提供を行いました。

先月から開催された各市町等の畑かん関連協議会総会は全て終了し、令和8年度の活動が本格的に始まりました。

普及センターでは、引き続き関係機関と連携して、畑かんを活用した営農振興を進めてまいります。



【畑かん営農の情報提供】

3 「みずサポ隊」アンケート調査に係る協議の実施

28日以降、各市町の畑かん担当課において、散水器具導入者を対象とした「畑かん利用状況アンケート」の打ち合わせを行いました。

本調査は、器具導入後の利用実態を把握し、今後の畑かん営農推進の参考とすることを目的としています。

今後は、関係機関の協力のもと、管内約240戸を対象に調査を実施してまいります。



【アンケート実施の打ち合わせ】

(先進技術の導入等による高品質・高収益な園芸産地づくり)

4 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJA梨ぶどう生産部会ぶどう梨管理講習会の開催

12日に、小林市内の生産者園地2ヶ所にて、生産者と関係機関合わせて23名が参加しました。

普及センターからは「栽培管理」「展示ほ試験結果」「病虫害対策」「高温対策」等について講習を行いました。生産者からはぶどうにおけるアブサップ液剤の散布のタイミングや登録品種についての質問や、梨の「凍夏」「甘太」についての意見交換がされ、参加者の積極的な姿勢がみられました。

引き続き、病虫害や試験結果等の情報共有を行っていきます。



【普及センターによる講習】

5 小林市果樹農業振興推進対策協議会及びJA梨ぶどう生産部会役員会の開催

28日に、小林市役所にて生産者と関係機関合わせて9名が参加しました。

役員会では今年度の視察について話し合い、7月に福岡県に視察に行くことになりました。有意義な視察となるように、関係機関と連携して支援していきます。

(気候変動に対応した持続性の高い水田農業の確立)

6 乾田直播の実施

1日、えびの市において、水稻乾田直播実証展示ほ(20a)の播種作業を行いました。

乾田直播栽培は、「播種～育苗」間の作業を削減し労働時間を短縮する省力化技術となっており、今回の作業ではダイレクトライスシーダー等の播種機を用いて、飼料用米「ひなたみのり」を播種しました。

今後、作業時間や収量などを慣行栽培と比較し、直播栽培の省力性について解析を行う予定です。



【ダイレクトライスシーダーを用いた播種作業】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 農業法人の経営支援

7日と26日に、水稻担当と経営担当が連携し、モデル農家である高原町の法人と経営改善に向けた取組や優先順位づけを行いました。

今年度は高付加価値米生産による売上向上を図りながら、作業改善によるムダの削減に取り組むこととなりました。

2 就農相談会を開催

13日、小林市で肉用牛繁殖経営での就農希望の方1名、21日、えびの市で有機農業の稲作等での就農希望の方1名、29日高原町で果樹での就農希望の方1名に対して就農相談会を開催しました。

いずれの相談も継続での案件で、前回までの内容をもとに就農計画を作成する上で必要な事項の整理等が行われました。今後も青年等就農計画の認定を目指して経営計画の策定を支援していきます。

※就農相談対応 3名3回

(内訳 小林市：肉用牛繁殖1名、えびの市：稲作・露地野菜1名、高原町：果樹1名)

3 令和8年度にしもろサップ交流会が開催

26日、小林市内において、にしもろサップ会員14名(小林市SAP6名、えびの市SAP8名)と農業経営指導士や関係機関、普及センター職員など24名の参加のもと、令和8年度にしもろサップ交流会が開催されました。

交流会では、それぞれの立場の垣根を越えた積極的な意見交換が行われ、今後のSAP活動や参加者の取組に活かされていくことを期待するところです。



【地区長のあいさつ】

4 えびの市SAP研修会が開催

25日、えびの市内において、えびの市SAP会議主催による研修会が開催されました。研修会は、えびの市SAP会員からの呼びかけにより開催されたもので、SAP会員7名と関係機関8名で行われ、現地視察と座学の2本立てで行いました。講師には、専門技術センターから黒木センター長を招き、高温対策と微生物に関するお話をしていただきました。

参加した会員からは積極的に質問があがり、日ごろの営農で感じていた疑問や悩み事のヒントとなる学びが得られたようで、今後のSAP活動や参加者の取組に活かされていくことを期待するところです。



【現地で質問をする会員】

5 JAこばやし夏秋きゅうり栽培・出荷講習会が開催

27日に、小林集送センターにて生産者25名と関係機関4名が参加しました。

栽培講習会では、普及センターから、高温期の仕立て方や農薬ローテーション散布について説明を行いました。生産者からは、最近多発しているチュウゴクアミガサハゴロモの生態や防除方法などについて質問があり、防除技術について説明を行いました。

5月から夏秋きゅうりの定植が始まりましたので、個別巡回を行い、高温対策や病害虫対策についての助言を行っています。



【挨拶をする部会長（左奥）】

6 高原町花卉部会の定例会及び総会が開催

28日に、高原町管内において生産者6名と関係機関6名が参加しました。また、今回は主要な生花市場担当者1名も参加しました。

ほ場巡回では、アザミウマが発生し始めていることが分かりましたので、防除等を助言しました。定例会では、市場担当者から良好な生育状況について高評価が述べられ、今後の販売に期待が持てそうです。普及センターからは、6月の農作業ポイントと台風への備えについて説明しました。

参加者からは、災害対策について気持ちを改める旨の発言がありました。定期総会では昨年度事業実績と今年度事業計画等が審議され、いずれも原案通り可決されました。



【生育状況を確認する参加者】